

末吉橋の架け替えを行います！

～事業着手に向けて横浜市と川崎市で基本協定を締結しました！～

横浜市と川崎市境に位置し、鶴見川に架かる末吉橋は、緊急輸送路の「主要地方道県道鶴見溝ノ口」上にあり、また環状2号線の延長上に位置する重要な橋梁です。

このたび、横浜市と川崎市は末吉橋の架け替えについて、共同事業として基本協定を締結しました。なお、事業は横浜市が主体で行い、事業費は2分の1ずつ負担することとしました。

平成27年度から、川崎市と連携し、早期完成に向け、調査・設計を進めていきます。

また事業費・スケジュール・構造については、今後2箇年の設計の中で検討していきます。

～安全・安心で便利な橋に生まれ変わります～

架け替え後には・・・

- ・耐震性を高めることで大地震が発生しても、緊急輸送路としての機能を確保します。
- ・歩道を広げることで、安全で快適に利用できるようになります。(現歩道幅：1.5m)
- ・右折レーンの延長、交差点改良などにより慢性的な渋滞を減らします。
(末吉橋交差点 県道川崎町田(尻手方面)：現最大渋滞長 460m)
- ・橋脚の本数を少なくすることで、大雨の時でも鶴見川の流れをスムーズにさせます。

～現在末吉橋がかかえる課題～



渋滞状況(川崎市→横浜市)



狭い歩道状況(川崎市→横浜市)



橋脚劣化状況(鉄筋の露出)



床版劣化状況(漏水による継手部の腐食)

<裏面あり>

案内図



現橋梁諸元

1. 路線名；主要地方道県道鶴見溝ノ口、一般県道川崎町田
2. 事業箇所；横浜市鶴見区上末吉五丁目～川崎市幸区小倉五丁目
3. 橋長； $L=107.86$ (m)
4. 橋梁形式；単純鋼鈹桁・5連、橋脚4基
5. 幅員；総幅員 13.3m(車道 4.5m×2 歩道 1.5×2 地覆 0.65m 中央帯 0.65m)
6. 架設年次；(上り線：鶴見川上流側) 昭和 25年 (下り線：鶴見川下流側) 昭和 39年

お問合せ先

道路局 橋梁課長

菊地 健次 Tel 045-671-2752

※ 本件は、川崎市記者会へも同時発表しています。